

東京クリニック

医薬品情報

TEL 03-5287-5532

Web <http://www.tokyo-clinic.jp>

Mail info@tokyo-clinic.jp

※※2004年12月改訂(第3版、自主改訂)

※2003年7月改訂(第2版、自主改訂)

貯 法：しゃ光・気密容器
使用期限：容器、外箱に表示

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	(61AM)1142
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

■ 30 ■

漢方製剤

ツムラ真武湯エキス顆粒(医療用)

【組成・性状】

組 成	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.0gを含有する。 日局ブクリョウ……4.0g 日局ショウキョウ……1.5g 日局シャクヤク……3.0g 修治ブシ末……0.5g 日局ソウジュツ……3.0g	
	添加物	日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖
性 状	剤 形	顆粒剤
	色	淡灰白色
	におい	特異なにおい
	味	辛味
	識別コード	ツムラ/30

【効能又は効果】

新陳代謝の沈衰しているものの次の諸症：

胃腸疾患、胃腸虚弱症、慢性腸炎、消化不良、胃アトニー症、胃下垂症、ネフローゼ、腹膜炎、脳溢血、脊髄疾患による運動ならびに知覚麻痺、神経衰弱、高血圧症、心臓弁膜症、心不全で心悸亢進、半身不随、リウマチ、老人性掻痒症

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1.慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)体力の充実している患者〔副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。〕
- (2)暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者〔心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれるおそれがある。〕

2.重要な基本的注意

- (1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ブシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

3.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

- ※※(1)過敏症：発疹、発赤、掻痒、蕁麻疹等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
- (2)その他：心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれることがある。

4.高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5.妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。〔本剤に含まれる修治ブシ末の副作用があらわれやすくなる。〕

6.小児等への投与

小児等には慎重に投与すること。〔本剤には修治ブシ末が含まれている。〕

【薬効薬理】

血圧降下作用

メチラポン投与と熱ストレス負荷で作製された高血圧モデルラット(MHR)の血圧上昇期にあたるintroductory-MHRラットに経口投与したところ、血圧の上昇が抑制された¹⁾。

※【包装】

500g、5kg(500g×10)、2.5g×42包、2.5g×189包

【主要文献】

1) 丁 宗 鐵・他：和漢医薬学会誌，7(3)556(1990)

【文献請求先】

株式会社ツムラ 商品情報センター
東京都千代田区二番町12番地7 〒102-8422

